

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域(地区)名	宗谷 <small>そうや</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	猿払村ほか8市町 <small>さるふつむら</small>
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道北部に位置し、地形は低山性、西は日本海、東はオホーツク海、北は宗谷海峡と三方が海に面している。</p> <p>本地区の総面積463千haのうち、森林面積は325千ha（森林率70%）、対象民有林は156千ha（森林全体の48%）、うちトドマツを主体とした人工林は86千ha（人工林率26%）となっている。また、本地区内の林道延長は445,192mで、公道等を含む林内道路密度は11.1m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち21千ha（人工林の48%）がⅦ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、近年の木材価格の低迷と林業従事者の高齢化や不況等から手入れが不十分な森林が見られるようになってきた。</p> <p>このため、宗谷地域森林環境保全整備事業計画に基づき本事業による森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：19,112ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：9,812m 林業専用道</p> <p>総事業費：4,482,715千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.50 (総便益(B) = 30,617,653千円、総費用(C) = 6,810,342千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養<small>かん</small>、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 北海道

地域(地区)名: 宗谷^{そうや}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 ^{かん} 涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,607,703	
	流域貯水便益	1,982,426	
	水質浄化便益	4,340,762	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,321,162	
	土砂崩壊防止便益	57,030	
環境保全便益	炭素固定便益	2,950,131	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	16,820	
	木材利用増進便益	3,610	
	木材生産確保・増進便益	2,910,424	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,015	
	森林整備促進便益	426,570	
総 便 益 (B)		30,617,653	
総 費 用 (C)		6,810,342	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,617,653}{6,810,342} = 4.50$		

